



2021
議会だより

よしか

第60号

山さな町で 大きな夢を
自分の可能性を信じて



題字：吉賀高校3年 岡本ひなたさん
写真：吉賀高校2年 成本千騎さん

▶ 第2回定例会・行政視察	2～3	▶ 一般質問	9～12
▶ 主な質疑	4	▶ 経済常任委員会	12～13
▶ 臨時会・全員協議会	5	▶ 発委・発議・請願・要望	13～14
▶ 議案の議決結果	6	▶ 議場見学・今月の表紙	14
▶ 議会へのご意見	7～8	編集後記	

第2回(6月)定例会

《令和3年6月11日～18日まで8日間》

提出議案 14議案

一般会計補正予算 9,162万円

総額 73億5,738万円

大型遊休施設譲渡へ

◆財産の無償譲渡について

旧吉賀町地域間交流拠点施設(元柿木中学校校舎)

遊休施設を有効利用し、地域の活性化を目指すため、施設を無償譲渡するもの。

プロポーザル(提案)型の公募により、町内で二件の応募があった。テナントやシェアハウス等、事業を計画している。

公設民営化に向けて本格始動

◆六日市病院に対し経営改善計画策定のため

地域医療確保緊急対策事業補助金 1千万円支出

経営改善計画策定には、町・保健福祉課も加わり、追加支援、公設民営化への準備を進める。



議会のペーパーレス化に向けて

議会では、議会活性化の一環として、議会運営の事務効率向上を目指し、ペーパーレス化を推進するため、昨年度より町と協議を続けてきました。6月補正で予算化しました。

【導入予算】（単位：千円）

項目	金額	説明
財産管理費		
使用料	720	システム使用料・CATV使用料
改修工事費	957	議場内のWi-Fi環境構築
CATV加入負担金	77	
電算管理費		
機械器具費	1,479	タブレット30台（議会12、執行部13、予備5）
計	3,233	

【導入後のイメージ】



【その他】

運用方法等は、今後、議会（議員、事務局）、総務課で検討する予定

行政視察

ようこそ、

浜田市議会の皆さん

5月12日に、浜田市議会福祉環境委員会の8名の委員が行政視察に来町されました。「よしかの子育ての取り組み、現状や課題について」をテーマに保健福祉課の課長・担当者が説明し、委員の皆さんと意見交換を行いました。



浜田市議会福祉環境委員の皆さん

主な質疑

石州会六日市病院にコンサル料 一千万円支援

石州会六日市病院が経営改善の作成に必要なコンサル料に、町が1000万円支援するという予算が上程されました。石州会が指定した業者に支援するというもので、町の主体性に多くの疑問が出ました。

藤井議員

コンサル料1000万円は、病院の努力で賄うべきである。

町が支出しなければならぬ理由を説明できるのか。

【副町長】

根底にあるのは経営改善である。三者が一体となって策定して実行していくことが公設民営化につながると考えている。

河村（電）議員

〔株〕日本経営は山陰合同銀行との協同事業体である。公平な改善案が示されるとは思えない。なぜ、町が主導して選定したのか。

【副町長】

病院の健全経営は、町も石州会も銀行も考えは同じである。どこのコンサルでも方向性が変わることはないと思う。

中田議員

1000万円のコンサル料を出すのであれば、契約者は町でないという説明がつかない。

【保健福祉課長】

町が求めているのは六日市病院の経営改善なので、契約の主体は石州会であると考え、3年間赤字が続いているので、支援することにした。

旧柿木中学校無償譲渡へ

旧柿木中学校が地域との交流をテーマにした飲食店や特産品の開発・習い事教室・シェアオフィス等を提案したプロジェクトメンバーの代表に無償で譲渡されました。また、旧河津地区集会所も土地の所有者に無償で譲渡されました。

河村（産）議員

用途の変更があった時は、もう一度協議するのかが。

【柿木地域振興室長】

譲渡の条件と違う使用はしないという約束になっている。

三浦議員

テナント入居者等の業者は決まっているのかが。

【柿木地域振興室長】

譲渡が決まったら募集していくと聞いている。

その他の質疑

庭田議員

コミュニティ助成事業で大井谷棚田のLED設置ができることになった。250万円で住民が満足できる事業となるのか。

【企画課長】

4色のLEDを3000本用意する。自治会から意見が出れば検討したい。

緊急質問

自死防止対策について（桜下議員）

山口県境に架かる橋で昨年は死者4名、保護された方4名、今年に入っては既に3名の方が亡くなれば、保護された方が5名にもなっている。

早急に自死防止対策を講じるよう求める。

【町長】

隣接する公園の環境改善等を指定管理者と協議すると共に、自死予防対策計画に基づいて啓発や相談窓口の充実に力を入れていく。

臨時会

令和3年第3回（令和3年5月6日）

【議案】

* 一般会計補正予算（第1号）

主な歳出 新型コロナウイルス対策経費

- ①低所得子育て世帯生活支援特別給付金事業費 3,640千円
(5万円×69人分 ほか)
- ②販路拡大促進支援事業補助金 12,000千円
(事業者が実施する販路拡大に係る経費について補助)
- ③中小企業者等事業継続支援金 17,000千円
(農業も含む全業種対象。今回2回目 町内中小企業者等の事業悪化を緩和し、事業の継続を支援)
- ④地域経済振興券交付事業費 32,662千円
(家計の負担や地域経済への影響を受け、町民の生活支援を目的)
町民一人あたり5,000円 利用期間 9月1日～12月31日

全員協議会

令和3年第4回（令和3年6月4日）

【主な議題】

* 空家対策について

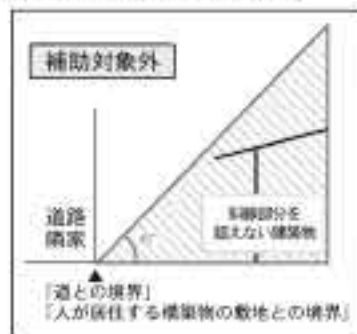
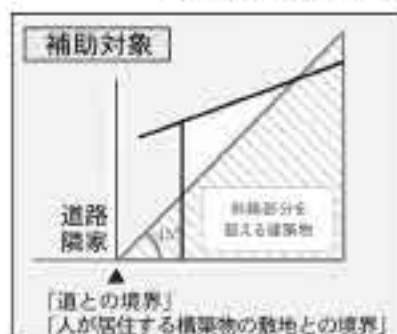
…吉賀町空家等対策計画が協議会の審議を経て策定され、策定後の具体的な取り組み、実施内容

- ◆今後の予定
 - ・庁内組織会議の実施
 - ・計画の具体的な取り組みについて
 - ・老朽危険空家除却支援事業制度の創設

◆老朽危険空家除却支援事業（協議中）

各項目についてそれぞれ取り決めがあります。

- ・補助の対象となる工事
- ・補助の対象となる老朽危険空家
- ・補助の対象者
- ・補助率及び補助限度額（上限額 120万円）
- ・建築物の位置と道路及び隣家との関係



『議決結果表』

【全員賛成で可決した議案】

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

	議案番号	件名
第3回臨時会	承認第1号	専決処分の承認(吉賀町税条例等の一部改正)
	議案第35号	請負契約の変更(町道唐人屋線唐人屋トンネル補修工事)
	議案第36号	請負契約の変更(町道福川長崎線三之瀬橋補修工事)
	議案第37号	令和3年度吉賀町一般会計補正予算(第1号)
第2回定例会	議案第38号	鹿足郡事務組合理約の一部変更
	議案第39号	町道路線変更認定
	議案第40号	財産の無償譲渡(旧吉賀町地域間交流拠点施設)
	議案第41号	財産の無償譲渡(旧河津地区集会所)
	議案第42号	吉賀町ふるさと応援寄附条例の一部改正
	議案第43号	吉賀町興学資金貸与条例の一部改正
	議案第45号	吉賀町特別養護老人ホーム条例の一部改正
	議案第46号	吉賀町デイサービスセンター条例の一部改正
	議案第47号	吉賀町介護保険条例の一部改正
	議案第48号	令和3年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	議案第49号	令和3年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	議案第50号	令和3年度吉賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
	発委第2号	吉賀町議会基本条例の一部改正
	発委第3号	吉賀町議会会議規則の一部改正

【賛成多数で可決した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	桑原	三浦	桜下	松尾	中田	大和多	河村(雄)	大庭	河村(温)	庭田	藤井
第2回定例会	議案第44号	吉賀町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●
	議案第51号	令和3年度吉賀町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
	請願第1号	国に対し、「再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書」の提出を求める請願	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	発委第4号	刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書(案)	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第2号	コロナ禍における米の需給環境の改善を求める意見書(案) 【修正部分】	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コロナ禍における米の需給環境の改善を求める意見書(案) 【修正部分以外】		●	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○

議会についてのご意見をお聞かせください

吉賀町議会では、議会活性化のため、具体的な取り組みを進めています。

つきましては、住民の皆様から議会についてのご意見や提言をお寄せいただきたいと思います。

ご住所やお名前を記入された方には、回答させていただきます。

なお、議会・町政に関しないものやひぼう中傷等には回答いたしませんので、ご了承下さい。

切り取り

折ってください

のりしろ

のりしろ

のりしろ

のりしろ

切り取り

折ってください

切り取り

折ってください

料金受取人払

益田郵便局承認

215

差出有効期間
2021年12月
31日まで
〔切手不要〕

698-8790

吉賀町六日市七五〇

吉賀町役場 議会事務局 行

ご意見等ある方は、
裏面にご記入の上、
外枠にそって切り
取り封書にして投
函してください。

7

次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 (歳代)

件名

5044-0103

折ってください

切り取り

コロナ禍で急激に売上減少した事業者支援を



藤 升 正 夫

質問 新型コロナウイルス感染症は、感染力の強い変異株が全国に広がり、イベント、人の集まりが中止、縮小され、人の流れが一気に少なくなった。

新型コロナウイルス感染症は、感染力の強い変異株が全国に広がり、イベント、人の集まりが中止、縮小され、人の流れが一気に少なくなった。

売上減少など、困難を強いられている事業者に向け、「吉賀町中小企業者等事業継続支援金」の対象期間と支援金の拡充、一時金支給など、事業の継続を図るといった目的が確実に達成できる対策を求めらる。

質問 介護保険料負担軽減を度が始まってから、社会保障の財源として導入された消費税は2倍、介護保険料は2・4倍、法人税の基本税率は約2分の1に減っている。町民の負担感をどのように受け止めているか。

介護保険料負担軽減の度が始まってから、社会保障の財源として導入された消費税は2倍、介護保険料は2・4倍、法人税の基本税率は約2分の1に減っている。町民の負担感をどのように受け止めているか。

町長 事態は非常に深刻に

事態は非常に深刻に。商工会を通じて情報収集をしており、情報によつては新たな支援制度も早急に検討しなくてはならないと思う。

町長 これ以上の

これ以上の保険料の高騰は、高齢者にとって極めて厳しいものと認識している。国に対し効果的な対策を講じるよう要望したい。

「まちを一つに」の公約の成果は



河 村 由 美 子

質問 「まちを一つに」と公約し

「まちを一つに」と公約し、就任以来3年8カ月が経った。この間、七日市大規模火災、六日市学園閉校の決定、令和4年を目標とした病院の公設民営化の遅延、地域商社の中止、第三セクターの民営化、当初予算の否決等あった。結果、住居表示の問題、第三セクター等で町が二分されたと感じるが、反省と成果は何かか。

「まちを一つに」と公約し、就任以来3年8カ月が経った。この間、七日市大規模火災、六日市学園閉校の決定、令和4年を目標とした病院の公設民営化の遅延、地域商社の中止、第三セクターの民営化、当初予算の否決等あった。結果、住居表示の問題、第三セクター等で町が二分されたと感じるが、反省と成果は何かか。

町長 残念ながら

残念ながら期待された結果は出なかったが、人口減少の数は無下で減少率が低く、良い数値となった。今後の残任期間、全力で職務を全うする覚悟である。

質問 地域

地域の現状把握が急務である。当町もコロナ禍で地域は疲弊し、厳しい環境下にある。

町有財産の統廃合を視野に早急な対応を求め、小水力発電所の増設など稼げる町づくりを考えられないか。

町長 地域

地域の疲弊を感じる。町有財産の管理運営は早急な見直しを考えている。外貨を稼ぐ方法は多種多様であるが、現在、小水力発電は予定にない。職員の人材育成には全庁挙げて努めたい。

施政方針を問う



中 田 元

質問 防災行政無

防災行政無線受信機を全戸設置する具体的な考えはあるのか。

歩道用除雪機を購入したが、狭い町道での除雪はできるのか。

町長 戸別受信機

戸別受信機の新規設置は広報よし、ケーブルテレビで周知したい。小型除雪機で狭い町道の除雪は可能である。防災マップは、現在の状況を広報するために作成したもので、緊急性の高い右のから対策を講じる。空き家は個人の財産であり、特定空き家等該当の是非について検討し、対応を進めていく。益田・岩国道路は管内道路担当部署の勉強会を6回、首長を交えて意見交換会等を行っているが、長期での取り組みとなる。



地域内公共交通の整備を



大多和 安一

質問

大森銀山でのカートを利用した地域内交通が実施されている。カートを使用的に地域内公共交通を始めれば、買い物等が便利になり、高齢者に優しい町になるのでは、

町長

農業用水施設・頭首工は台帳で整備しているが、ポンプアップ施設は整備していない。整備を検討する。

グリーンスローモビリティを検討

地域公共交通通網形成計画は、役場周辺の市街地循環線の導入を、グリーンスローモビリティで検討している。

町長

河川改修が進まない原因は、固定艇を可動艇やポンプアップ方式にする場合、維持経費の負担が大きい。何らかの補助ができないか。環の位置等を台帳に

質問

河川改修が進まない原因は、固定艇を可動艇やポンプアップ方式にする場合、維持経費の負担が大きい。何らかの補助ができないか。環の位置等を台帳に

整備できないか。

町長

農業者用水施設・頭首工は台帳で整備しているが、ポンプアップ施設は整備していない。整備を検討する。

質問

民間の認知症高齢者賠償保険に三原市が契約すると聞いた。当町も同様にはできないか。

町長

認知症高齢者の在宅生活の継続に向け、導入を検討する。

※グリーンスローモビリティとは、低速電動車を活用した移動サービスを言う。

安蔵寺山周辺施設の整備を



河村 隆行

質問

コロナ禍で、自然の中で過ごす人が増え、ゴミの郷の予約も取れないと聞いた。利用の状況について聞く。

町長

盛太ヶ岳、麓ノ子山では毎年、小中学生による登山活動も行われている。

登山については、私

有地の通行に関する課題もあり、積極的に紹介はしていない。

コロナ禍の影響で県外への外出を控える中

でもあり、この機会に

ぜひ広報等で、改めて施設等の紹介し、市民の利活用の促進を図りたい。

周遊しながら町内の自然に触れてもらう。それにはまず、町民の皆さんが、山歩き・

質問

「まちを」ついに」の政治理念は達成できたか。また、2期目に取り組む重点施策は。

町長

様々な施策を展開してきたが、一体感の醸成が実感できる町がつくれたかと言われると、まだまだという感じである。課題は山積しているが、まずは残された任期に全力を注ぎたい。

質問

農地・集落を守る施策を

町長

町の米は、産地間競争に勝ち抜く力を十分に持っている。価格保障、買い取り制度など、町単の制度を設けて支援すべきである。

4年間の評価は



庭田 英明

生産者を支援

町長

生産者の意向向上につながる支援をしていく。

再質問

国や県は脱炭素社会を見据えて有機農業の推進に大きく舵を切っている。有機農業推進計画を早急に復活し、農地を守るための圃場整備を加速すべきである。

安全な農産物を

町長

情報発信をしながら、安全・安心な農産物の生産を推奨していく。

圃場整備は、人・農地プランで地域農業の姿を描き推進する。



今後の産業振興の考え方は



松 蔭 茂

質問

3月議会では一般会計予算が否決され、地域商社設立は中止された。地域産業振興の基盤がかなり運れると思われる。新型コロナウイルス感染症終息後の経済形態も大きく変わる。

予算が否決され、事業が中止ということの責任はどのように感じているのか。このような中で今後の産業振興はどのように考えているのか。

中止について総括する

町長

地域産業振興の基盤である地域商社事業を中止せざるを得ないことになったことは私の責任である。十分に総括し、反省の上に立って全産

業の振興に向けて頑張っていく。

産業振興施策の充実が町民の所得向上、雇用の場の拡大など地域の経済の活性化に努める。米のブランド化、収益性の高い水田園芸への転換、産地化、スマート農業を推進し、若い人も農業に取り組みやすくする。

全職員のアイデア、企業の方、有識者の方の知恵も頂き、今後の産業振興に努めていく。



2年越しのコロナ禍の経済動向は



桑 原 三 平

質問

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しがついていない現況において、町内の産業・経済の動向を、どのように把握し、認識しているか。

地方創生臨時交付金を活用する

町長

感染症が長くなり多方面に影響が出ている。特に自動車関連の製造業や飲食業、宿泊業、サービス業及び小売業等に影響が大である。ほかにも建設業や農業者等、産業経済全般に影響を及ぼしている。

対策として、感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、様々な経済施策を行い、支援をしてきたところである。

再質問

支援策の一つである中小企業者等事業継続支援金について、確定条件のハードルが高いとの指摘がある。見直しは、

現時点での見直しは難しい

町長

支援金事業は受付が始まっている。この時点で変えるのは難しい。県でも、支援制度ができるように聞いてい

ますは昨年の12月から今年の4月までの5か月間の経済支援をすというスタンスで取り組み、対応を講じる。

公共交通の利便性を



大 庭 澄 人

質問

蔵木線は、1日4便の運行があるが、昼のデマンドバスを除いて学生の運行主体であるが、一般の人には利用しづらいところがある。

買い物や通院には不便で、住民が利用しやすい便に増やすべきである。

質問

日常生活でオムツ等必要な方への支援がなく、低収入の方には負担となっている。町として手を差し伸べられないか。

高齢者に優しいまちづくり

町長

オムツの着用が必要な方を対象にした助成制度は、多くの自治体で制度化されており、負担軽減を図る必要があると判断している。

町長

現在調整中ではあるが、町内全体の定期運行便の見直しも行い、対応できることがあれば検討させてもらう。

会議の中で調整



これまで町の礎を築いてこられた諸先輩方の恩に報いるためにも、高齢者に優しいまちづくりの実現に向けて検討する。

新型コロナウイルスワクチン接種状況は



桜下 善博

質問

ワクチン接種の電話受付時に混乱が生じ、町民に不安を与えた。

原因と今後の対策は、希望者全員の接種時期は、

丁寧な対応に心がける

受付開始から5の6日間では対象者の53%の1742人の申し込みがあり、接種し、7月3日まで4つの回線がつながりにくい状況になった。

オペレーターの増員を検討したが、予約の重複、漏れ、接種枠の確保な振り分けなど適切な対応であったと理解している。

一般接種についても丁寧な対応に心がける。

11月末までに完了予定

12歳から64歳の方は約2900人を見込んでいます。

町長

接種券を8月下旬に送付して、7月下旬から8月上旬には開始する。遅くとも、11月末までには完了したい。

施設職員も施設入所者の接種に併せ、優先接種し、7月3日までには完了する予定である。

その他の介護従事者も、高齢者や障がい者等と接する機会が多いので、クラスター予防の観点から早めの接種が必要と考えている。

キャンセルにより生じた余剰ワクチンを有効に活用して、接種につなげる。

自治会組織の今後は



三浦 浩明

質問

ここ数年のうちに高齢化や人口減少も進み、自治会活動や日常生活に様々の影響が出ている。

各地域で年間行事の縮小や中止、自治会自体を脱退するという事実もある。

今後継続と予想される地域、地域の存続も危ぶまれる。

自治会組織の形態を含め、早期の改善策等対策が必要ではないか。

住民主体の案で行政が支援

町長

人口減少や地域活動の衰退は、町内の雇用、経営、存続にも影響を与えている。

自治会を構成する世帯が少なくなり、継続が大変になってきている。

行政がいきなり関わりを持つていくのは好ましい状況ではない。

地域づくりは住民の方が主体であり、自治会に関係する皆さんで議論いただく。

次の一歩を進める段階で、行政の方へお声がけをいただければ支援をさせていただく。

地域が取れていくこととなく、自治会の皆さんと一緒に踏ん張らなければならぬ。

経済常任委員会報告書

地域商社について

地域商社事業に関しては、令和3年3月定例議会にて、「住民からの盛り上がり」に欠け、施策先行していた事業であり、無駄な委託事業のため早期に勇気を持って撤退すべき」との中間報告をしていったものである。

令和3年度一般会計当初予算案から関連事業費を削除し、同事業から撤退したことは評価する。

令和元年度からの地域商社立ち上げであるが、事業を立ち上げるに当たり、関係住民・関係機関等の協議先に関しては、誠意のある対応に努められたい。

今後は、町民不在の施策ではなく、地域から盛り上がるような施策となることを期待する。

また、町としてのこれまでの地域商社事業取り組みの総括については、9月定例議会に報告されたい。



経済常任委員会

「再生可能エネルギーの先進地奥出雲町を視察」

4月21日に、農業用水路を利用した小水力発電を行い、「再生可能エネルギーの地産地消」を先進的に展開している奥出雲町の取り組みを視察しました。

所感として、「当町は、清流高津川を有した「水源のまち」であり、脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの新規事業については、今後積極的に調査・研究に取り組むべきである。」と報告しました。



奥出雲町への視察

「商工会青年部との意見交換を実施」



商工会青年部との意見交換

6月15日に、吉賀町商工会澄川寛青年部長と意見交換を行いました。「事業承継に関する支援補助金」などを主なテーマとして、関係課の企画課・産業課の担当者も出席し、委員と掘り下げた議論を交わしました。

発 委

(委員会が提出した議案)

「発委3件が可決されました」

▼【発委第2号】

吉賀町議会基本条例の一部を改正する条例について

提出者 議会運営委員会

委員長 桜下 善博

「内容」障がいを持つ議員や妊娠中の議員に対して、議会活動がしやすい環境を整備するため、基本条例に明確化するもの

▼【発委第3号】

吉賀町議会会議規則の一部を改正する規則について

提出者 議会運営委員会

委員長 桜下 善博

「内容」男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として欠席事由・期間を明確化すること及び請願者の利便性向上を図るため、押印の義務付けを見直すもの

▼【発委第4号】

「刑事訴訟法の再審規定」の改正を求める意見書(案)の提出について

提出者 総務常任委員会

委員長 中田 元

「内容」請願第1号の採択により、無実の者が有罪とされたえん罪被害者を救済するために、国に意見書を提出するもの

発議

(議員が提出した議案)

可決され、国会・政府へ提出しました

【発議第2号】

コロナ禍における米の需給環境の改善を求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫

〔内容〕農業生産者の経営と地域経済を守るため、米の需給環境を改善することを国に求めるもの

請願

請願が採択されました

【請願第1号】

国に対し、「再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書」の提出を求める請願

提出者 日本国民救援会島根県本部
会長 中尾 光良

要望

要望内容は補正予算に計上され、可決されました

【要望第2号】

社会医療法人石州会の経営改善計画策定に関するコンサルタント導入費用の支援についての要望書

提出者 社会医療法人 石州会

理事長 谷浦 博之

議場見学



六日市小学校児童の皆さん

ようこそ、

六日市小学校の皆さん

6月8日に、六日市小学校3年生の児童11名の皆さんが社会科授業として、議場見学に來られました。

当日は、安永議長の進行のもと、児童は議員席に座って、マイクを使って発言するなど「ミニ子ども議会」を体験してもらいました。

【今月の表紙】

田舎だから仕事がない、やることがないと嘆くのではなく、自分の可能性を信じて「無いなら自分の手で創る!」というマインドを、吉賀高校から吉賀町へ発信したい。そのような高校生の想いを一枚の写真で表現しました。

編集後記

本号(第60号)で現編集委員による発行は最後となりました。

議会と町民の皆様との架け橋、御理解を願い編集に努めました。皆様の御協力もあり御意見も22件いただき議会運営に大変参考になり、ありがとうございます。

今、コロナ感染で生活が疲弊しています。いづれ終息いたします。この弱った経済を活性化し、行政、議会共によりよい吉賀町になるよう努めなければなりません。皆様の協力によるしくお願い致します。

広報広聴常任委員会

委員長 松藤 茂

副委員長 大庭 澄人

委員 桑原 三平

河村 隆行

庭田 英明